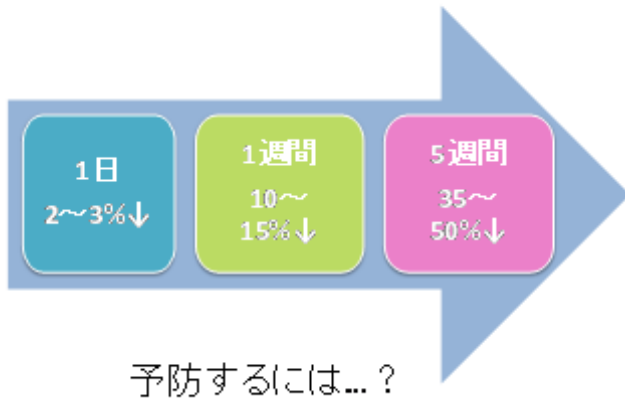


NST・褥瘡対策委員会では、褥瘡または栄養にまつわる勉強会を行っています。
 9月は、理学療法士 山口智大氏より「リハビリと栄養」についての勉強会でした。

リハビリテーションと栄養

臥床日数による筋力低下

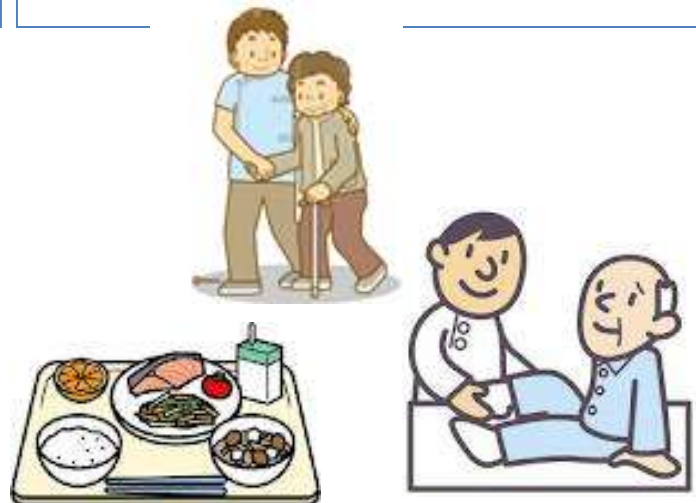
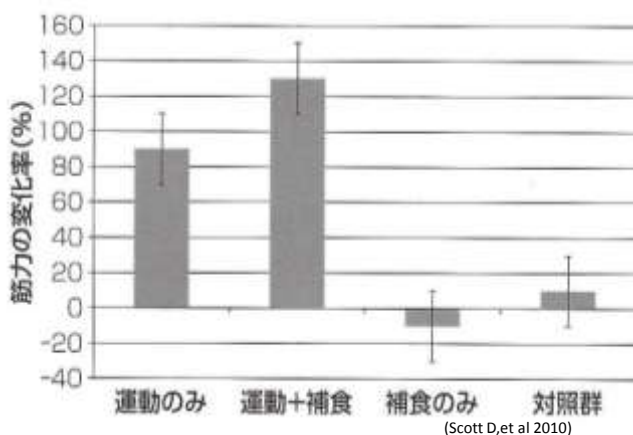


ヘッティンガーらによると、
 最大筋力の20~30%の筋活動をすることで筋力低下を予防できる。



**身の回りの動作の獲得
(ADL)**

栄養負荷による筋力への影響



リハビリテーション医療は、筋萎縮の原因 (*サルコペニア、**廃用性筋萎縮など) と栄養状態に応じたリハビリの負荷を探り、日常生活における健康関連 QOL (HRQOL) を高めることを目標とする医療です。

*サルコペニア⇒加齢により生じる筋力量の減少、運動機能の低下

**廃用性筋萎縮⇒安静臥床による筋量及び筋力の低下

次回の NST・褥瘡勉強会予定

10月16日(火) 18時~19時 医学部第一講堂にて、
 理学療法士 萩原礼紀氏より「リハビリテーションと褥瘡」をテーマに勉強会を行います。